

事業完了報告書（実行団体）

事業名:	生活困窮になった方への緊急食糧支援活動
資金分配団体名:	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
実行団体名:	特定非営利活動法人フードバンク福山
実施時期:	2021年7月～2021年12月
事業対象地域:	福山市、府中市、尾道市、三原市、神石高原町、笠岡市
事業対象者:	一人暮らし障がい者・高齢者・若者、老夫婦二人暮らし、DV被害者母子、生活困窮相談に行かれた方、外国人技能実習生、矯正施設出所者、三食食べることができていない子ども、居場所を必要としている子ども、路上生活者、福祉施設入所者、他約46の支援団体

Version 3.2

日付: 2022年1月10日

I. 事業概要

事業実施概要	目的は、生活困窮者への食品無償提供による緊急生活支援です。トラックを購入することで、より多くの量(前年同月より一月500kg増)を人、団体(前年より12月までに30人増、8団体増)に継続して支援物資を届けます。 広報力の強化にも努め、寄付者及び地域社会への情報発信（信頼度向上と透明性向上を目的）を実施します。
--------	--

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	コロナの影響を受け、食支援のニーズ（必要とする方）とシーズ（提供する企業等）が拡大することを想定した課題設定を行ったが、このことは妥当だったと振り返る。一方で現時点（2022年1月）においてもコロナ終息の見通しは立たず、いままでぎりぎり踏みとどまっていた方々がこれからも踏みとどまることができるか大きな懸念がある。 本事業は拡大するニーズ・シーズに対応するために車両購入を通じた取扱量の拡大と効率向上と広報による認知向上を軸とした事業設計だったが、この事業設計は妥当だったと振り返る。
-------------------	---

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
生活困窮者	食料関連の不足	①フードバンク活動の拡大 -1.トラックを購入している	トラックの有無	トラックが納品されている	計画通りに納車できた	トラックの納車に時間がかかることが想定されていたため、助成金次第ということを踏まえあらかじめディーラーに依頼しておいたことで迅速な納車につながった。
生活困窮者	食料関連の不足	①フードバンク活動の拡大 -2.日常的な活動の実施	活動日数、関わったスタッフ・ボランティア人数	25日/月の活動日数、および活動したのべ人数（直接125人/月、間接65人/月）	7-12月期間で156日稼働（ほぼ休みなく毎日）	6-12月期間で55059kg(約55t)の食品を取り扱った。企業から提供の話も多かったが、運搬や保管、人員不足などから断るケースも多かった。尾道社協などと連携してまとまった量を提供したり、事務所に取りに来ていただいたりと延べ約3131名、延べ約776団体に支援を届けることができた。
生活困窮者	食料関連の不足	②フードバンク認知の拡大 -1・チラシが作成され印刷されている	チラシの納品	チラシ1,000枚が納品されている	計画通りに納品できた	平日頃の業務が忙しく、手が回っていなかった広報について、本事業をきっかけに取り組みすることができた。チラシは関係先（社協、行政等）に配布した。
生活困窮者	食料関連の不足	②フードバンク認知の拡大 -2・HPが作成され公開されている	HPの納品	HPが公開されている	計画通りに公開できた	チラシと同じく平日頃の業務が忙しく更新等が出来ていなかったが、本事業をきっかけに利用者や寄付者に対するメニューを整理するなど改善することができた。

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	①フードバンク活動の拡大 ・前年同月より一月500kg増。今年12月までに要支援者30人増、支援団体8団体増になっている。 ②フードバンク認知の拡大 ・HP作成・SNS活用・チラシ刷新し配布・市役所や社協への広報協力依頼・学校SDGs学習・JA農生産者の研修・慈善団体の集まり等での報告などを通じて広く市民がフードバンクのことを知っている。
考察等	①コロナ禍により、食支援を必要とする層が広がっており、困難な状況が悪化している。当法人単独ではリソースが足りず支援の届かない方々がいる。社会福祉協議会や地域の子ども食堂、他地域のフードバンク団体等との連携を深めて対応する必要があると感じている。その一環として広島フードバンクネットワークを設立し、当法人の小林(代表)がネットワークの共同代表に就任した。また、集計や記録といった作業を従来は手書きで対応していたが、効率化を目指しITを活用したシステムにシフトを始めている。食支援を必要とする層が広がらないことが重要だが、拡大するニーズにできる限り応えていくためにも組織基盤を整える必要があると感じている。 ②企業のフードロスに対する意識は高まっており、当法人にも多くの寄付がある。一方で、本来はロスを出さないことが重要であり、ロスを活用すること（生活困窮者等に届けること）に意識が偏っていると感じる。フードロスに取り組む専門家として公演の依頼なども増えてきていることもあり、引き続きフードバンクのミッションや役割を伝えていくことにも注力が必要と考える。

V. 活動

活動	進捗	概要
①フードバンク活動の拡大 -1・トラックの購入	計画通り	資金提供契約後ただちに購入手続きを行い、8月26日に納車となった。納車後は食料品の配送に活用している。荷台の材質が木だったため、鉄板に改装を行った。

①フードバンク活動の拡大 -2・日常的な活動の実施	計画通り	日常的な活動は、①食べ物の無償受け取り、②食材の保管や管理、③食材の提供、④広報、⑤各種会議と内部外部の打ち合わせ、⑥車両管理・整備・点検・運転、⑦事務（会計、報告等）を指す。ほぼ休みなく日々活動を行った。 【事業期間内（2021.6～2021.12）の実績】 ・取り扱い食料品：55059kg(約55t) ・主な食材提供先：個人416名、団体114団体（尾道市社協、庄原市社協、福山市内府中市内三原市内子ども食堂、福山医療生協、外国人留学生支援協会、外国人技能実習生支援協会エフエフ、・・・） ・主な寄付先企業：104団体（JFE物流、酪農協会、カタオカ㈱、ゆめマート、府中学園、御幸小学校、穴吹学園、広島県庁、JA、高速道路公団、桑田造園、NTT、東部宅配センター、三原ルートインホテル、福山ニューキャッスルホテル、福山ガス、宝和運輸・・・）
②フードバンク認知の拡大 -1・チラシの作成	計画通り	資金提供契約後ただちにデザインを発注し、8月中旬に納品した。
②フードバンク認知の拡大 -2・HPの作成	計画通り	資金提供契約後ただちに作成に取組、7月中に内部で案や素材を確定し、8月中旬に納品となった。

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	他の実行団体（正仁会、環境保全創生委員会）と連携し、広島フードバンクネットワークを立ち上げた。フードバンクのミッションの共有、組織運営や組織基盤、活動などに関する困りごとの共有そしてその改善に向けた連携、単独では受けられない大口寄付に対するネットワークでの対応など、連携して取り組むことができるようになってきた。 個々の団体はリソースが不足しており、持ち出しやボランティアで何とか頑張っているが、持続可能な状態とは言えなかった。ネットワークを通じて共有の課題解決、寄付やボランティアといったリソース集め、共通システムの開発などを通じて組織基盤を整え、より効率的な運営ができるようになることで、困難な方々への食支援を継続できる。何よりもフードバンクの本来のミッションであるフードロスの削減を推進できるようになると可能性を感じている。
---------------------	--

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	明らかに個人生活困窮者は増えていると感じる。当法人もだが小さなフードバンク団体や子ども食堂だけでは支援したくても難しい。個人生活困窮者の情報を当法人が一括して持つことはないが、行政や社会福祉協議会との連携は少しずつ広がってきており、社会福祉協議会まで当法人から食材を運ぶことで、社協から個人生活困窮者に食材が届くようになってきていると感じている。1団体では限界があるが、協働によってその問題を乗り越えようという雰囲気は醸成されてきている。 企業からの寄贈も増えているが、使途に要望がある（困窮者に必ず渡すことのように）場合や、大量の物資を一度に受け取る必要がある場合など、小さな団体では対応できない。今後はフードバンク団体の実情も含めて企業と共有し、双方の歩み寄りが必要と考える。
-----------	---

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
広島フードバンクネットワーク	県内のフードバンク団体との意見交換や情報交換の実施。広島でのフードバンク分野の未来についての意見交換。
尾道市社会福祉協議会	食料品の提供、現場状況の情報交換等。
福山市自立支援センター	食料品の提供、現場状況の情報交換等。

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	4,998,300	4,998,300	100.0%
	管理的経費	1,700	1,700	100.0%
合計		5,000,000	5,000,000	100.0%
補足説明				

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	中国新聞 ※事業期間完了後：2022年1月6日 https://note.com/chugokunp_u35/n/n7df1dbd53ff6?magazine_key=m5ebf925f313f
2.広報制作物等 当該事業費を使って製作したもの	チラシ
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例）	トラック、HPにシンボルマーク掲載予定 ※作業がまだできていない（2022.12.31）
4.報告書等	

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類（指針・ガイドライン等を含む）	状況	内容
1.事業期間中に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	未公開	HPに掲載予定だが、手が回っておらずまだ実施できていない。2022年度内には完了させる予定。

4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	いいえ	HPに掲載予定だが、手が回っておらずまだ実施できていない。2022年度内には完了させる予定。
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置しましたか。	はい	
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査 <input checked="" type="checkbox"/> 内部監査 <input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金を申請、または受領していますか。	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	はい	

XII. その他

自由記述